



## うちのイチ押し!

学習センターを利用するグループ・団体による作品展示、舞台発表など、日ごろの活動を披露します。

### 難波市民学習センター

2016

## 春のセンターまつり

3/4(金)~3/13(日)

**作品展示** 3/4(金)~3/13(日)

平日・土曜日は9:30~20:00 日曜・祝日は9:30~15:00

**ステージ発表** 3/13(日) 13:00~

歌やダンス、様々な楽器の演奏、太極拳、紙芝居、相撲甚句など多彩なプログラムを楽しむ。

**作品販売会** 3/12(土)・3/13(日) 11:00~15:00

日頃の学習成果や手作り品を持ち寄り販売。収益の一部を東日本大震災復興支援に役立てます。

**一日体験教室**

3/12(土)・13(日)

●午前の部：10:00~12:00

●午後の部：13:30~15:30

※各教室の詳細については P 9



**問合せ** 大阪市立難波市民学習センター

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目4番1号OCATビル4階  
TEL:06-6643-7010 FAX:06-6643-7050

ホームページ

### 阿倍野市民学習センター

## あべのグループ フェスティバル2016

ときめき★2days!

3/5(土)・6(日)

**作品展示**

3/5(土) 10:00 ~ 17:00

3/6(日) 10:00 ~ 16:00

**舞台発表**

3/5(土) 10:30 ~ 12:45

3/6(日)【午前】10:30 ~ 11:30

【午後】13:30 ~ 15:00



**問合せ** 大阪市立阿倍野市民学習センター

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階  
TEL:06-6634-7951 FAX:06-6634-7954

ホームページ

## おおさか歴史探訪 98

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 生きた化石 メタセコイア

— わが国最初の導入木 —

メタセコイアは現在ではよく知られた樹木であり、公園や学校などあちこちで見ることができます。先がすどく尖り、まっすぐに天に向かって伸びる樹形が美しいことから、街路樹としてもよく用いられています。しかしこのように身近に見られるようになったのは、それほど古いことではありません。今回はその歴史をたどってみましょう。

メタセコイアのことを“生きた化石”という言い方をします。その理由は、次の通りです。この樹種は1941(昭和16)年に、日本の古生物学者三木茂によって化石として発見されましたが、その時にはこの種はすでに絶滅していると考えられていました。ところが1946(昭和21)年になって、中国四川省(現、湖北省)の一部の地域に生育していることが中国の学者により確認されました。化石の方が先に発見されていたため、“生きた化石”と呼ばれるようになったということです。

その後、この樹種を後世に残そうとする運動が始められ、日本には1950(昭和25)年に、中国、アメリカ、日本の研究者の連携によって苗木100本が届けられ、全国の大学や研究機関に配布されました。その後苗木は各地で挿し木がおこなわれ、三木の勤務先であった大阪市立大学に置かれた保存会事務局を通して全国の希望者に頒布されました。作業は同大学理学部附属植物園(大阪府交野市私市2000)の講堂でおこなわれましたが、その数が膨大であったため(例えば1959年には4,426本もの苗木が発送されました)、さながら植木市の様相であったといえます。このような関係者の努力があって、メタセコイアは今日見るように全国に普及しました。

最初にもたらされた苗木100本のうち、現在生育が確認されているものは僅かとのことですが、そのうちの1本が先に記した大阪市立大学理学部附属植物園にあります。解説プレートに“最初の導入木”と記されています。(大阪市教育委員会 文化財保護課)

市立大学理学部附属植物園 入園料：高校生以上350円

開館時間：9:30~16:30(入園は16:00まで)月曜休館 問合せ：072-891-2059

